

Session 1

発表 1

イ・テドン（延世大学校政治外交学科助教授）

【発表概要】

韓国の環境政治は生態主義と土建主義が対立してきた歴史である。韓国の地図を変える大きな歴史となったセマングム事業と、4大河川事業を見ると、資本と公権力を背景とした土建主義が勝利したかに見える。しかしこうした土建主義の勝利は生態的、社会的悪影響を生み出している。

本発表は、生態主義と土建主義を主体、価値、戦略を中心に概念化し、これを基にセマングム事業と4大河川事業を批判的に考察することを目的としている。